



小郡市立小郡中学校 令和5年4月12日

小郡中学校だより 第175号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

令和5年度の出発にあたり 本年度もどうぞよろしくお願ひいたします

いよいよ令和5年度が始まりました。入学、進級おめでとうございます。本校校長 7年目になります船津聡哉です。保護者のみなさま、地域のみな



さま、本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

私は学校はあるものではなく、つくるもの…子どもが「自分をつくる」ために学校があるのだと思っています。〈子どもが自分の学校を自分がつくる〉〈保護者(サポーター)が自分の子どもの学校を自分がつくる〉〈地域の人が地域の宝が学ぶ地域の学校を自分がつくる〉〈教職員が自分の働く学校を自分がつくる〉…すべての人が当事者になる、人のせいにはしない学校づくりをめざしております。子どもたちを中心(主語)にして、われわれ教職員が、家庭・地域のみなさんと共に、明るく前向きに知恵を出し合い、協力して教育活動を展開していけば、きっと本校の歴史と伝統をさらに発展させることができると考えています。

私も教職員は「チーム小郡中」として、学校教育目標『夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成』をめざして、全力で取り組んでまいります。教職員の力だけではどうも実現できるものではありません。先にも述べましたが、家庭や地域のみなさまのお力添えが、ぜひとも必要です。保護者のみなさま方、地域のみなさま方も生徒全員の育ちを支えていただくパートナーとして、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

112名の新入生が入学しました〈第44回入学式〉

4月11日に入学式があり、112名の新入生が期待と不安を胸に入学してきました。私からは、新入生への期待をふたつ伝えました。

〈第44回入学式の様子〉

ひとつは、すすんで学ぶ生徒であってほしいということ。

授業だけでなく、さまざまな活動で、「わかる」ことや「できる」ことをひとつひとつ積み上げて、学ぶ楽しさや面白さをたくさん感じてほしいと思っています。

ふたつめは、思いやりをもち、支え合える生徒であってほしいということ。

「わたしも大切、あなたも大切」という心は、居心地のよい環境をつくり、自分そして集団の成長につながっていきます。やさしい心や思いやりの心で人と関わり、お互いを認め、高めあえる仲間づくりをしてほしいと思っています。



新入生のみなさん、まずは学校生活に慣れること、そして新しく出会った先生方や先輩、友だちとともに、常に前向きな気持ちで生活し、新しいことへの挑戦を通して、真の「生きる力」を身につけてください。ただ、学校生活の中では、頑張ろうとしても上手くいかないこともあります。そうした時は、周りの人に相談したり、アドバイスをもらったりしてください。この小郡中学校には、親身に相談にのってくれる先輩たち、頼りがいのある先生たちなど、みなさんを応援してくれる人がたくさんいます。遠慮なく、何でも聞いてください。

退職・転任者、赴任者の紹介

3月24日に離任式、4月6日に赴任式を行いました。

退職・転任される先生方には、小郡中学校のためにご指導いただき、お世話になりました。心から感謝しますとともに、益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。

また、赴任された先生方には、今後のご指導をよろしく願います。



退職・転任者	赴任者
--------	-----

退職・転任の先生方	赴任される先生方
(退職) ※4月1日より本校再任用 先生 (退職) ※4月1日より本校再任用 先生 (退職) ※4月より本校1年生理科を担当 先生 (退職) ※4月より本校オレンジ学級の支援 先生 (退職) ※4月より本校3年生国語を担当 先生 (退職) 教頭先生 (宝城中学校へ) 先生 (立石中学校へ) 先生 (三国中学校へ) 先生 (三国中学校へ) 先生 (三国中学校へ) 学校司書 先生 (三国中学校へ) 校務 先生 (のぞみが丘小学校へ)	教頭先生 (大原中学校より) 先生 (三国中学校より) 先生 (三国中学校より) 先生 (三国中学校より) 先生 (榊原中学校より) 先生 (新卒) 先生 (大原中学校より) ※2年生社会を担当 先生 (北野中学校より) ※3年生英語を担当 学校司書 先生 (味坂小学校より) 校務 先生 (三国中学校より)

教職員紹介

1年間、このメンバーで取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

生徒のみなさん、共に頑張り、充実した1年間にしていきたいでしょう。

教職員一同、生徒のみなさんを心より応援しています。

職名・担任(教科)	名前	職名・担任(教科)	名前	職名・担任(教科)	名前
校長		2年1組(英語)		3年1組(理科)	
教頭		2年2組(理科)		3年2組(音楽)	
1年1組(英語)		2年3組(数学)		3年3組(数学)	
1年2組(国語)		2年4組(保体)		オレンジ学級担任	
1年3組(保体)		オレンジ学級担任		オレンジ学級担任	
オレンジ学級担任		オレンジ学級担任		3年副任(社会)	
1年副任(社会)		2年副任(家庭)		3年副任(技術)	
1年副任(数学)		2年副任(国語)		3年副任(生徒支援)	
1年副任(美術)		2年副任(生徒支援)		3年国語担当	
1年理科担当		養護教諭・2年副任		3年英語担当	
研修担当		2年社会担当		3年英語担当	
司書		特別支援教育支援員		3年保健体育	
事務		特別支援教育支援員		特別支援教育支援員	
校務		特別支援教育支援員		特別支援教育支援員	
ALT				スクールカウンセラー	

学校・学年だより、PTA新聞等への生徒の写真及び名前の掲載について

本校では、生徒の活躍や行事等の様子を保護者や校区内の方々にお知らせするため、学校だより・学年だより・PTA新聞に生徒の写真や名前を掲載しております。また、各行事のスナップ写真は卒業アルバムにも利用します。本人やご家庭の事情により、お子さまの写真及び名前の掲載が不可の場合は、担任または学校にお知らせください。〈「教育活動に係る個人情報」の扱いについて(お願い)〉の文書を配布しておりますので、ご確認ください。

(たよりの写真については様子が判る位の大きさで、上記以外には使用いたしません)【保護者のみなさまへ】

令和5年度 授業参観・学級分会・PTA総会・歓送迎会への参加をお願いいたします

4月21日(金)は、授業参観・学級分会・PTA総会・歓送迎会です。当日の日程につきましては、生徒を通じて配布しております別途案内文書をご覧ください。子どもたちの学校での姿を知るよい機会です。ぜひ保護者のみなさまの出席をお願いいたします。

「教育条件整備」に係る取組の報告とお礼

昨年、「学習指導・生徒指導・進路指導に関わる教員の配置、奨学金の改善・拡充、学び場支援事業の充実」のための「教育条件整備」に係る小中保護者合同学習会、個人及び団体署名活動をすすめて参りました。たくさんの方のご協力により、本年度も市内13すべての小中学校に児童生徒の学習・進路保障のための教職員定数が配置されました。改めてお礼申し上げます。今後とも「教育条件整備」に係る取組へのご支援をお願いいたします。



小郡市立小郡中学校

令和5年4月24日



小郡中学校だより

第176号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

学校では、毎年の教育活動を振り返り、子どもの実態に照らしてどんな生徒を育てていくかを決めています。それが教育目標です。学校だより第175号でもお伝えしましたが、本校の教育目標は「夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」です。

夢と志をもって主体的に学び	心豊かに	たくましく生きる
<ul style="list-style-type: none"> ○理想を実現しようとする高い志や意欲をもって、主体的に学びに向かう ○試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していく 	<ul style="list-style-type: none"> ○生命を大切にし、人権を尊重する心 ○自他のよさを認め合う心 ○礼儀をわきまえ、他者を思いやる心 ○様々な人々と協働する心 	<ul style="list-style-type: none"> ○感性を豊かに働かせながら、意欲的に努力する態度 ○主体的な学びの定着 ○粘り強くあきらめない気力と体力

予測困難な時代においては、他者と対話し、学び支え合う社会をつかっていく協働的な営みが必要であり、持続可能な社会の創り手である子どもたちがエージェンシー〈①学び続ける力 ②新たな課題に対応できる力 ③協働的に課題解決できる力の3つの力をエージェンシーと位置付けています〉を発揮して、理想の実現に向けて現状をよりよくするために責任感をもって社会に参画していくことが重要とされています。そこで本校では、知・徳・体の調和のとれた教育、SDGsの理念「誰ひとり取り残さない」を軸とし、未来に向かって成長しようとしている子どもたちの可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成したいと思っています。

なお、本校の生徒たちの実態や本年度の重点目標等は右図に示しておりますのでご確認ください。

〈本年度の教育目標と経営方針については小郡中学校ホームページにも掲載しております〉まずは、本校の教育方針等をご理解そして共有していただき、保護者・地域と連携した教育活動を推進していきたいと考えています。いつの時代も「学校と保護者・地域のみならず同じ目標に向けて進んでいく学校は、素晴らしい学校である」と言われています。どうぞ、趣旨をご理解の上、本年度もご協力・ご支援をお願いいたします。



本年度の重点目標 『自分で考えて、判断し、責任をもって行動できる生徒』〈考動〉〈協働〉

- ・すすんで学習に向かう生徒【学び続ける力の獲得】
- ・自分(たち)の課題を明確にし、その解決に向けて粘り強く取り組む生徒【自分ごと化して、新たな課題に対応できる力の獲得】
- ・自分の行動や感情をコントロールし、集団の一員として協働していく生徒【協働して課題を解決できる力の獲得】

本年度の経営の最重点項目

【誰ひとり取り残さない、個に応じた指導】【教職員自らの自己改革、指導力向上】

- 1 確かな学力の向上〈生徒の見取りを重視し、学び続ける力を高める授業づくり〉
- 2 豊かな心と健やかな体の育成〈自分や他者を大切にする心豊かな集団づくり〉
- 3 保護者・地域から信頼される学校づくり〈連携して子どもを育てる環境づくり〉

4月21日(金)の授業参観・学級分会・PTA総会、そして歓送迎会に参加していただいた保護者のみなさま方、本当にありがとうございました。授業参観では、少し緊張しながら学習している子どもたち、いつもより表情の硬い先生方の姿が見られました。また、短い時間でしたが学級分会では、保護者のみなさまの思いや願いなども聞かせていただき、子どもたちの成長を願う親の思いが伝わってくる有意義な時間がもてたことに感謝しております。PTA総会もスムーズに終わることができ、一年間の活動計画等が決定しました。これからも保護者のみなさまと協力し合い、子どもたちの成長のために努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

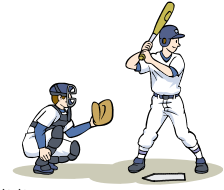
退任役員のみなさま

本年度役員のみなさま

【退任されるPTA役員】 ありがとうございました	
会長	さん
副会長	さん
副会長	さん
【本年度のPTA役員】 よろしく申し上げます	
会長	さん
	さん
副会長	さん
	さん
	さん
書記	さん
会計	さん

部活動編制がありました

部活動方針の詳細は、小郡中ホームページをご覧ください



4月19日(水)に部活動編制がありました。部活動は、次の①～③が大きなねらいです。
 ①心と体の調和的発達と自分の役割を果たす ②自分のよさを伸ばし、将来の活動に生かす
 ③集団の大切さの自覚と対人関係の充実をめざし、つながりを深め、信頼関係を高める
 目標を明確にし、先輩や友だちと協力しながら人間関係を豊かにしてたくましい体力、忍耐力をつけてほしいと願っています。なお、部活動(常設部)の顧問割は下表の通りです。

※「福岡県運動部活動の在り方に関する指針(福岡県教育委員会)」及び「小郡市部活動の在り方に関する指針(小郡市教育委員会)」に基づき、本校でも活動方針を決めています。

【令和5年度 部活動(常設部)顧問割】

部活動名	顧問名
バスケットボール	男女
バレーボール	女
ソフトテニス	男女
卓球	男女
ソフトボール	女
野球	
サッカー	
剣道	
美術	
家庭	
吹奏楽	

- (1) 早朝の練習(朝練)を実施する場合は、7時20分からとします。また、7時前の登校はできません。
朝練については、基本的に3月1日～5月31日の期間は中止としていますが、この期間中に大会等があり、朝練を実施する場合は、保護者・部員と十分な連絡をとり、了承のもと活動します。
- (2) 下校時間は月ごとに最終下校時間が違いますので確認してください。(日没までに帰宅します)
- (3) 定期考査3日前から考査最終日の朝までの活動は中止とします。(中体連大会前は保護者・部員の了承のもと短時間行う場合もあります)
- (4) 毎週月曜日は統一のノー部活デー(朝練がないときは、8時前に登校できません)とし、学級活動や生徒会活動優先日とします。また、学期中の休養日は週あたり3日以上とします。(基本は平日は少なくとも2日、週休日(土曜日及び日曜日)は少なくとも1日以上を休養日とします)ただし、大会参加等により調整が必要な場合もあり、休養日が各部活動で異なってきますので、事前に配布される活動計画表等で確認をお願いします。



小郡市立小郡中学校 令和5年4月27日

小郡中学校だより 第177号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月8日より季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されます。マスク着用は個人の判断に委ねられるなど、緩和が進んでいますが、手洗いなどの手指衛生と換気については引き続き有効だと言われているので、基本的な感染対策は徹底していきたいものです。



いよいよ来週から5月。新緑のすがすがしい季節がやってきました。若葉が濃い緑に育つように、生徒のみなさんも大きく大きく成長してくれることを願っています。

『雲外想天 ～仲間と共に やり遂げる～』 …生徒会活動本格的始動

生徒総会が4月25日(火)に行われ、生徒会活動が本格的にスタートしました。本年度は体育館で一堂に会しての生徒総会が開催でき、生徒のみなさんの真剣な表情が見られました。

生徒総会では、昨年度の総括、本年度の生徒会スローガン、専門委員会の活動目標・活動内容等が審議され、決定されました。また、本年度の生徒会スローガンに賛成の立場で、各学級代表者による意見発表もあり、スローガン達成に向けて自分たちがすべき具体的な姿や行動目標等を述べてくれました。とてもすばらしい発表で、生徒のみなさん一人ひとりの積極的な活動が期待できるものでした。

生徒会活動は、生徒のみなさんの学校生活をよりよく充実したものにするための活動です。

ですから、大切なのは生徒会活動は生徒会拡大執行部だけの活動ではないということです。生徒のみなさんの応援なしでは進まないし、生徒のみなさんの生徒会活動に対する理解と協力が活動を活発にさせるのです。また、全校生徒一人ひとりはやるべき役割、任された仕事があります。学校という場で、社会で生きる本物の力を身につけたいと願うならば、やるべきことや任された仕事は、「大変だから嫌だ」ではなく、「まずやってみよう」の精神が大切になります。この「まずやってみよう」の精神は、小郡中生徒会の活性化につながることはもちろん、将来のみなさんのプラスに働くのです。ぜひ、自分から「まずやってみよう」の精神を意識し、小郡中の生徒であるという自覚と責任をもち、役割を果たせる人、仕事ができる人になってくれることを願っています。

本年度の生徒会スローガンは【雲外想天 ～仲間と共に やり遂げる～】です。仲間の想いと向き合いながら、質の高い信頼関係を築いていこうという思いが込められています。これまで先輩たちが大切にしてきた仲間づくりを引継ぎ、さらに仲間とのつながりを強固なものにしていってください。取り組むと決めたならば、中途半端ではなく、とことんやる。小郡中の伝統のさらなる発展と全員が安心して生活できる学校を全員でつくってほしいものです。

生徒会拡大執行部のみなさん、春休みから生徒総会の準備、本当にお疲れさまでした。これからのみなさんの粘り強い取組に期待しています。



【生徒総会の様子】

スローガン達成のための三つの柱

- 交わす挨拶…お互いに挨拶、挨拶を通して仲間と会話しよう
- 重ねる合唱…たくさんの積み重ねから、仲間と声も心も重ねる合唱をつくっています
- 磨く清掃(無言清掃)…自分の心も磨こう
- 「思いやる心」「気づきの心」「感謝する心」を育てよう

『スマホに関する小郡中学生徒会宣言』・『携帯・スマホ等の使わせ方宣言』

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、動画・SNS・ゲームの時間が長くなっているという調査報告がされています。中学生では、利用・視聴が増えたサービスジャンルとして、上位から「YouTube」、「SNS」、「ゲームアプリ」となっているようです。また、このようにスマホやゲーム機等の使用時間の急激な増加で生活リズムの崩れ、昼夜逆転、さらには暴言や暴力などに悩んでいる家族も多くなっているというニュースもあり、ネット依存・ゲーム依存で悩む家族の相談窓口への相談件数も全国的に多くなっているそうです。本校でも5月12日にスマホ・携帯安全教室を行うなど、毎年、外部講師招聘による講話等を実施していますが、SNS(ラインやインスタ等)やオンラインゲームでのトラブル、そして長時間の使用で生活リズムが崩れ、体調が優れない、授業に集中できない生徒も少なくありません。再度、ご家庭でもお子さまと話していただき、使用ルールの確認をお願いします。

小郡中学校では平成28年(2016年)の4月22日のPTA総会で『携帯・スマホ等の使わせ方宣言』を、5月2日の生徒総会では『スマホに関する小郡中学生徒会宣言』を可決しています。本年度もPTA総会資料及び生徒総会議案書に掲載(小郡中ホームページにも掲載)し、確認・承認しております。

今後も取り組みを続けていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



「携帯・スマホ等の使わせ方」宣言

現在、小中高生の情報ツールは、スマートフォンに移り、子ども達の間では、SNS等を主としたトークツールが電話機能を上回る現状があります。これらのトークツールにはまって、「睡眠不足」「誤解による人間関係の悪化」「インターネット上におけるいじめ」「個人情報の流出」などトラブルが続出しているのが現実です。

また、生活面だけでなく、学習習慣の乱れや携帯・スマホ関わっての犯罪被害は増加の一途です。

このような社会情勢の中、携帯・スマホ時代の脅威に対する予防策や対応策を考えることは、喫緊の課題であります。

私たちは、ここに決意を新たにし、子ども一人一人の学習権や生活権を守るため、次の決議事項を、家庭において親子で確認することを宣言します。

決議

- 一、携帯やスマホを持たせる場合は、目的をはっきりさせます。(契約者は保護者です。それを子どもに貸しています。)
- 二、家庭のルールをつくり、子ども任せにしません。(ルールを教えることは保護者の責任です。)
- 三、直接会って話すこと、顔を見て話すことが大切であることを教えます。
- 四、ルールが守れない時やトラブルに遭った時は、保護者が一緒に考え、よい方法を見つけます。

平成二十八年四月二十二日 小郡中学校保護者教師会

※SNS(ソーシャル・ネット・ワーク・サービスの略)とはLINEやFacebook、ツイッター等の主に友人・知人とのコミュニケーションを拡げるためのサービス

スマホに関する小郡中学生徒会宣言

今世の中は様々なものが発展し、豊かになりました。しかし、そのせいで人と人とのつながりは薄くなってきているように感じます。

その中でも最近特に普及しているもの、「smart phone」その名の通り、とても賢く便利なスマホ。今ではおよそ2人に1人が所有している、というデータもあるそうです。これはとても便利な反面、あなたの使い方次第で、周りの誰かを不快な思いにさせてしまうかもしれません。電車に乗っている時、ふと、優先席付近に目をやると、下をむいて手すりも持たずスマホに向かってるなんていう人たちの目にしたことはありませんか。優先席付近でスマホを使うことは禁止されています。それなのに、そんなことも気にせず平気でマナーを守っていないのです。果たしてこれで良いのでしょうか？

これは、自分の身を危険にさらすだけでなく、他人にも迷惑がかかる行為です。それをされることで、不快な思いをする人、更には命に関わる人もいます。今こそ、これからの世の中を背負っていく私たちが考えていかなければなりません。しかし、「夜10時以降はスマホを使わない」などのように、様々なことを制限して守ろうとしても、私たちが中学校を卒業すれば制限から解放され、それでは意味がなくなってしまうのです。

そこで、私たちは細かいルールではなく、自分の人権、そして他人の人権を尊重するための将来大人になっても使える、一貫したスマホについてのルールをみなさんに3つ提案します。

- ①絶対に相手を傷つけるようなことに使わない
- ②大切なことは文字ではなく、相手に直接会って伝える
- ③家での使用については、家族と必ず相談して約束事を決める

これらは当たり前のことであり、人として守らなければいけないことです。これを機に、もう一度自分のスマホの使い方を見直し、まずはこの3つをしっかり守っていきましょう。

2016(平成28)年5月2日 小郡中学校生徒総会により可決

スクールカウンセラーについて

本年度は、()先生がスクールカウンセラーとしてお見えになります。基本的には毎週火曜日の午後となります。予約等については、担任かサポート教室担当の()まで連絡をお願いします。生徒のみなさんはもちろん、保護者のみなさま方も悩みの大小に関係なく、相談してください。

〈保護者のみなさまへ〉…『小郡中学校安心メール』の登録はお済みでしょうか。まだ、登録がお済みでない保護者のみなさま、ぜひ登録をお願いいたします。

